

三菱地所 presents

Tour of Japan
2022



REPORT

5.19 THU > 5.22 SUN

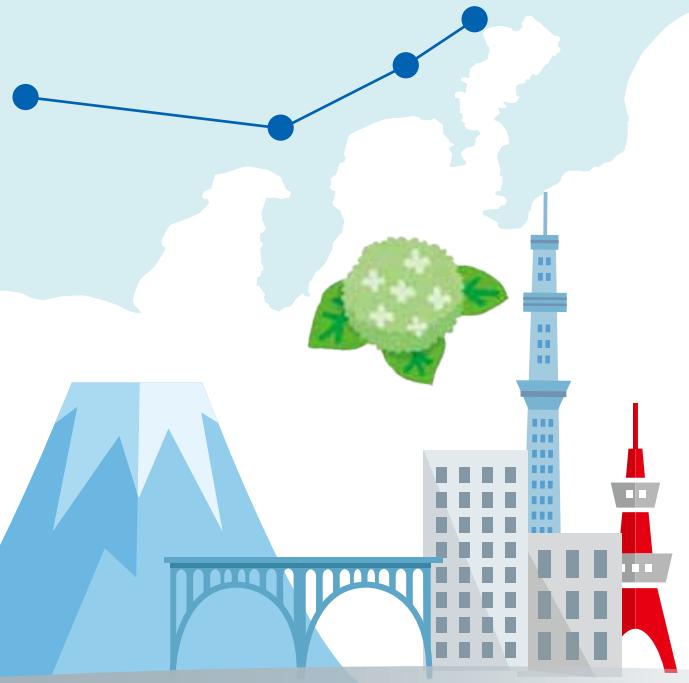


5.19 THU SHINSHU IIDA

5.20 FRI FUJISAN

5.21 SAT SAGAMIHARA

5.22 SUN TOKYO



KEIRIN 競輪の補助事業

この事業は競輪の補助を受けて実施いたしました。
<https://jka-cycle.jp>

Contents

実施概要・大会役員	2	パブリシティ(TV、ラジオ、雑誌、海外)	17
大会総評	3	パブリシティ(WEB)	18
参加チーム	4	会見・展示・各種会議	19
第1ステージ信州飯田	6	信州飯田パブリシティ	20
第2ステージ富士山	8	富士山パブリシティ	22
第3ステージ相模原	10	相模原パブリシティ	23
第4ステージ東京	12	東京パブリシティ	25
競技結果	14	協賛社・会場露出	26
広報ツール・オフィシャルグッズ	16		



5.19 THU ➤ 5.22 SUN

Outline of the Race 実施概要

●名 称	三菱地所 presents ツアー・オブ・ジャパン 2022 クラス:UCIアジアツアーブラス2.2
●主 催	自転車月間推進協議会
●主 管	ツアー・オブ・ジャパン組織委員会 (事務局:一般財団法人日本自転車普及協会)
●競技主管	公益財団法人日本自転車競技連盟
●後 援	自転車活用推進議員連盟/自転車活用推進本部/内閣府/ 総務省/文部科学省/経済産業省/国土交通省/消費者庁/ 東京都/長野県/静岡県/神奈川県/公益財団法人JKA/ 健康日本21推進全国連絡協議会
●協 力	飯田市/小山町(静岡県駿東郡)/相模原市/東京港埠頭株式会社
●冠 協 賛	三菱地所株式会社
●特別協賛	株式会社車両スポーツ映像(SPEEDチャンネル)/ 日本トーター株式会社(トキヤリ)
●協 賛	一般社団法人自転車協会/井上ゴム工業株式会社/ 株式会社 Champion System Japan/THULE/ ヤマハ発動機株式会社/ダイドードリンコ株式会社/ 株式会社シマノ/MAVIC JAPAN 株式会社/ 株式会社 NIPPO/株式会社ゼンリン/株式会社キナン/ 株式会社フカヤ/bryton Inc./株式会社マトリックス/ メリダジャパン株式会社/大分市・OITA サイクルフェス実行委員会/ Global Ride/Honolulu Century Ride 2022/ BRISBANE TO GOLD COAST CYCLE CHALLENGE 2022/ 株式会社オージーケーカブト/東京サンエス株式会社
●出場チーム	全16チーム(海外チーム1チーム、国内チーム15チーム) <UCIコンチネンタルチーム> 宇都宮ブリッツエン EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム キナンレーシングチーム 愛三工業レーシングチーム マトリックス パワータグ チーム ブリヂストン サイクリング チーム右京 那須ブレーゼン シマノレーシング ヴィクトワール広島 <ナショナルチーム> 日本ナショナルチーム <クラブチーム> 弱虫ペダルサイクリングチーム スパークルおおいた チームユーラシア・IRCタイヤ <大学チーム> 日本大学 京都産業大学

●チーム編成	8名(選手5名/監督1名/メカニック1名/マッサー1名)
●競 技 規 則	UCI(国際自転車競技連合)規則及び本大会特別規則による
●開 催 日 程	2022年5月19日(木)~5月22日(日)
●第1ステージ【信州飯田】	5/19(木) 10:00スタート 下久堅小学校グラウンド前→下久堅周回コース→ 下久堅小学校グラウンド前 (パレード 3.0km) 9.5km + 12.2km × 9周 + 0.3km = 119.6km 獲得標高 = 2,580m
●第2ステージ【富士山】	5/20(金) 10:30スタート 富士スピードウェイ西ゲート→東京五輪タイムトライアル周回 コース→小山町須走支所→ふじあざみライン 13.0km × 4周 + 9.4km + 17.4km = 78.8km 獲得標高 = 2,602m
●第3ステージ【相模原】	5/21(土) 8:50スタート 橋本公園→旧小倉橋→串川橋→鳥居原ふれあいの館前周回 コース ※2021年と逆周回コース (パレード 4.6km) 11.1km + 13.8km × 7周 = 107.7km 獲得標高 = 1,728m
●第4ステージ【東京】	5/22(日) 11:00スタート 大井埠頭周回コース (パレード 3.8km) 7.0km × 16周 = 112.0km 獲得標高 = 50m
総走行距離 = 418.1km 総獲得標高 = 6,960m	

Officials 大会役員

President	会 長	石黒 克巳	ISHIGURO KATSUMI
Vice-Presidents	副会長	山崎 一	YAMASAKI HAJIME
		野澤 隆寛	NOZAWA TAKAHIRO
Committee Chairman	委員長	田中 栄作	TANAKA EISAKU
Committee Vice Chairman	副委員長	中梶 秀則	NAKAKAJI HIDENORI
		大島 武巳	OHSHIMA TAKEMI
Committee Members	委 員	小鷹狩幸一	KODAKARI KOUICHI
		佐藤 成美	SATO SHIGEMI
		諸星 利雄	MOROBOSHI TOSHIO
		入谷 誠	IRITANI MAKOTO
		幸田 徳之	KODA NORIYUKI
		長澤 恵一	NAGASAWA KEIICHI
Auditor	監 事	設楽 忠	SHITARA TADASHI

Official Photographers 田中苑子



日本を元氣にする 魂の旅

ツアーオブジャパン大会ディレクター

栗村 修

今年で24回目の開催を迎えた「三菱地所presentsツアーオブ・ジャパン2022」が無事に終了いたしました。皆様、本当にありがとうございました。

コロナ禍以降、2020年大会は開催を断念、2021年大会は日本の自転車ロードレース大会では初となる「バブル方式」でのレース開催に踏み切ったものの、観戦自粛をお願いする形の開催に…。そして2022年、残念ながら2年連続での縮小開催となったものの、地域密着型ステージの先駆者である南信州ステージが「信州飯田ステージ」と名称を変えて復活し、一步前進する形で「全ステージ有観客」での開催をなんとか実現することができました。

多くの制限があるなか、各会場で熱狂的な声援を送ってくださった観客の皆様。レースバブル下で規律を守り、素晴らしいレースを魅せてくれた選手・チームの皆様。コロナ禍のレース開催にご

理解・ご協力くださいましたコース周辺住民の皆様、企業・団体の皆様。厳しい状況下で大会を支えてくださった公益財団法人JKA様、今年から冠協賛社として大会をサポートいただきました“日本の街や人を想う企業”三菱地所株式会社様をはじめとした各協賛社様。大会開催をご支援くださった後援・協力団体、各公的機関の皆様。制限のある中でレースの模様を熱く報じてくださったメディアの皆様。厳しいレースを安全・公平にジャッジしてくださったコミセールやマーシャルの皆様。膨大な準備作業を引き受けくださった各ステージ実行委員会の皆様。そして、大会運営に関わった全てのスタッフに対し、心より感謝の気持をお伝えいたします。皆様、本当にありがとうございました。

我々TOJは、今後も自転車ロードレースが持つ様々な可能性と、各地域が求める多様なニーズを繋ぎ、日本を元気にする「魂の旅」を継続してまいります。



Team List

UTSUNOMIYA BLITZEN

宇都宮ブリッツエン
監督: 清水 裕輔 SHIMIZU Yusuke



1 増田 成幸	MASUDA Nariyuki	日本	38
2 阿部 嵩之	ABE Takayuki	日本	35
3 小野寺 玲	ONODERA Rei	日本	26
4 中村 駿斗	NAKAMURA Kaito	日本	25
5 宮崎 泰史	MIYAZAKI Taishi	日本	22

BLZ

JPN (日本)

EF EDUCATION-NIPPO DEVELOPMENT TEAM

EF エデュケーション・NIPPO デベロップメントチーム
監督: 大門 宏 DAIMON Hiroshi



11 石上 優大	ISHIGAMI Masahiro	日本	24
12 門田 祐輔	KADOTA Yusuke	日本	23
13 織田 聖	ODA Hijiri	日本	23
14 岡 篤志	OKA Atsushi	日本	26

EFD

USA(アメリカ)

KINAN RACING TEAM

ギナンレーシングチーム
監督: 石田 哲也 ISHIDA Tetsuya



21 トマ・ルバ	LEBAS Thomas	フランス	36
22 山本 元喜	YAMAMOTO Genki	日本	30
23 新城 雄大	ARASHIRO Yudai	日本	26
24 山本 大喜	YAMAMOTO Masaki	日本	26
25 仮屋 和駿	KARIYA Kazutoshi	日本	21

KIN

JPN (日本)

AISAN RACING TEAM

愛三工業レーシングチーム
監督: 別府 匠 BEPPU Takumi



31 草場 啓吾	KUSABA Keigo	日本	25
32 鈴木 謙	SUZUKI Yuzuru	日本	36
33 渡邊 歩	WATANABE Ayumu	日本	24
34 岡本 隼	OKAMOTO Hayato	日本	26
35 中川 拳	NAKAGAWA Ken	日本	24

AIS

JPN (日本)

MATRIX POWERTAG

マトリックス パワータグ
監督: 安原 昌弘 YASUHARA Masahiro



41 フランシスコ・マンセボ・ペレス	MANCEBO PEREZ Francisco	スペイン	46
42 ホセ・ビセンテ・トリビオ・アルコレア	TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente	スペイン	36
43 安原 大貴	YASUHARA Daiki	日本	30
44 小林 海	KOBAYASHI Marino	日本	27
45 レオナル・キンテーロ・アルテアガ	QUINTERO ARTEAGA Leonel	ベネズエラ	25

MTR

JPN (日本)

TEAM BRIDGESTONE CYCLING

チーム ブリヂストン サイクリング
監督: 宮崎 景涼 MIYAZAKI Keisuke



51 徳田 優	TOKUDA Suguru	日本	27
52 今村 駿介	IMAMURA Shunsuke	日本	24
53 児島 直樹	KOJIMA Naoki	日本	21
54 山本 哲央	YAMAMOTO Tetsuo	日本	22
55 沢田 時	SAWADA Toki	日本	28

BGT

JPN (日本)

TEAM UKYO

チーム右京
監督: 桑原 忠彦 KUWABARA Tadahiko



61 ベンジャミン・ダイボール	DYBALL Benjamin	オーストラリア	33
62 ネイサン・アール	EARLE Nathan	オーストラリア	33
63 レイモンド・クレーダー	KREDER Raymond	オランダ	32
64 小石 祐馬	KOISHI Yuma	日本	28
65 石橋 学	ISHIBASHI Manabu	日本	29

UKO

JPN (日本)

NASU BLASEN

那須ブライゼン
監督: 桶口 峻明 HIGUCHI Takaaki



71 谷 順成	TANI Junsei	日本	27
72 西尾 勇人	NISHIO Hayato	日本	28
73 金子 大介	KANEKO Daisuke	日本	30
74 佐藤 大志	SATO Hiroshi	日本	22
75 西尾 寛人	NISHIO Keito	日本	26

NAS

JPN (日本)

SHIMANO RACING

シマノレーシング
監督:野寺 秀徳 NODERA Hidenori



81 横山 航太	YOKOYAMA Kota	日本	26
82 中井 唯晶	NAKAI Tadaaki	日本	25
83 井上 文成	INOUE Fuminari	日本	24
84 天野 壮悠	AMANO Takeharu	日本	20
85 風間 翔真	KAZAMA Shoma	日本	25

SMN

JPN (日本)

VICTOIRE HIROSHIMA

ヴィクトワール広島
監督:中山 卓士 NAKAYAMA Takashi



91 ライアン・カバナ	CAVANAGH Ryan	オーストラリア	26
92 阿曾 圭佑	ASO Keisuke	日本	30
93 久保田 悠介	KUBOTA Yusuke	日本	25
94 湯浅 博貴	YUASA Hirotaka	日本	21
95 園田 大智	SONODA Taichi	日本	21

VCH

JPN (日本)

JAPAN NATIONAL TEAM

日本ナショナルチーム
監督:浅田 順 ASADA Akira



101 留目 夕陽	TODOME Yuki	日本	19
102 寺田 吉騎	TERADA Yoshiki	日本	20
103 大河内 将泰	OKOCHI Masahiro	日本	21
104 山田 拓海	YAMADA Takumi	日本	20
105 川崎 三織	KAWASAKI Miori	日本	20

JPN

JPN (日本)

YOWAMUSHI PEDAL CYCLING TEAM

弱虫ペダルサイクリングチーム
監督:佐藤 成彦 SATO Shigehiko



111 入部 正太朗	IRIBE Shotaro	日本	32
112 中島 渉	NAKAJIMA Ayumi	日本	19
113 香山 飛龍	KAYAMA Hiryu	日本	21
114 内田 宇海	UCHIDA Takami	日本	22
115 五十嵐 洋太	IKARASHI Kota	日本	20

YPD

JPN (日本)

SPARKLE OITA RACING TEAM

スパークルおおいた
監督:黒枝 美樹 KUROEDA Miki



121 黒枝 士揮	KUROEDA Shiki	日本	30
122 黒枝 咲哉	KUROEDA Saya	日本	26
123 住吉 宏太	SUMIYOSHI Kota	日本	30
124 孫崎 大樹	MAGOSAKI Daiki	日本	25
125 津田 桂太郎	SAWADA Keitaro	日本	24

SPO

JPN (日本)

TEAM EURASIA-IRC TIRE

チームユーラシア・IRCタイヤ
監督:橋川 健 HASHIKAWA Ken



131 小村 悠樹	KOMURA Haruki	日本	22
132 梶塚 力斗	KAJITSUKA Rikito	日本	19
133 色川 岳宏	IROKAWA Takehiro	日本	21
134 加藤 遼	KATO Ryo	日本	22
135 秋田 圭佑	AKITA Keisuke	日本	18

ERS

JPN (日本)

NIHON UNIVERSITY

日本大学
監督:井上 由大 INOUE Yoshihiro



141 谷 彰太	TANI Shota	日本	21
142 北宅 桃麻	KITAYA Toma	日本	20
143 岡本 勝哉	OKAMOTO Katsuya	日本	19
144 中野 楚樂	WU Chuluo	日本	20
145 森本 凜太郎	MORIMOTO Rintaro	日本	18

NIH

JPN (日本)

KYOTO SANGYO UNIVERSITY

京都産業大学
監督:秋田 謙 AKITA Ken



151 谷内 健太	YACHI Kenta	日本	19
152 吉田 圭吾	YOSHIDA Keigo	日本	20
153 廣中 聖	HIRONAKA Hijiri	日本	21
154 山田 潤	YAMADA Jun	日本	21
155 中村 栄杜	NAKAMURA Eito	日本	19

KYU

JPN (日本)

5 | 19 THU Start 10:00

Stage1 SHINSHU IIDA

信州飯田



天候: 晴れ 24°C
来場者数: 15,000人
下久堅周回コース
<パレード 3.0km> + <9.5km + 12.2km × 9周 + 0.3km = 119.6km>
獲得標高 = 2,580m

ホームステージチーム: チーム右京
アンバサダー: 福島晋一 氏



ネイサン・アール(チーム右京)が 3年ぶり開催の信州飯田ステージで優勝! チーム右京はワン・ツーフィニッシュ!!

信州飯田ステージ(旧名: 南信州ステージ)は、残念ながらこの2年間開催を見送ったが、2022年は開幕ステージとして復活。晴天の中、3年ぶりに有観客開催が実現した。コースはスタート/フィニッシュ地点の変更を加え、ハードな周回コースはそのままに、初日から総合優勝を争う有力選手同士が凌ぎ合う激しいレースとなった。

序盤、散発的なアタックが繰り返されるが、マトリックス パワータグがハイペースでレースをコントロールし、簡単に逃げを許さない状況が続く。4周回目、石橋学(チーム右京)、織田聖(EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム)、西尾勇人(那須ブライゼン)、山本元喜(キンナンレーシングチーム)による4名の逃げ集団が形成され、メイン集団に最大1分のタイム差を築いて、レースは一旦落ち着きを見せる。

レースが動き始めたのは6周回目。4名の逃げは一旦吸収されるが、そこから改めて石上優大(EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム)、小石祐

馬(チーム右京)の2名がアタック。このアタックも決定打にはならなかったものの、2周回を残してステージ優勝の行方はメイン集団の16名に絞られた。8周回目終盤には、更に7名にまで絞られた先頭集団の中からベンジャミン・ダイボール(チーム右京)がアタックをかけ、メイン集団に32秒のタイム差をキープして単独で最終周回に突入。バラけたメイン集団からは、チームメイトのネイサン・アール(チーム右京)が単独2番手で追走。遅れて増田成幸(宇都宮ブリッツエン)、トマ・ルバ(キンナンレーシングチーム)が懸命に追走するも、残り5kmを切ったところで、ステージ優勝争いはチーム右京の2名の選手に絞られた。

フィニッシュ直前、ベンジャミン・ダイボールがネイサン・アールを先行させて、ステージ優勝はネイサン・アール。2位はそのままベンジャミン・ダイボールが入り、チーム右京は開幕ステージをワン・ツーフィニッシュで締め括った。昨年個人総合優勝の増田成幸(宇都宮ブリッツエン)は31秒差の総合3位に付けた。

ネイサン・アール(チーム右京)のコメント

日本でこのようなレースが出来てとても嬉しいです。正直少し疲れていますが、今日は勝つことができてとてもハッピーです。強いライバルが同じチームにいるというのは、とても大変なことです。今日は良いポジションにつけられて、非常に良いレースが出来たと思います。観客のみなさんには、とても楽しかったと言ってもらえるレースだったと思います。ベンジャミンと私は総合争いで良いポジションにいますし、2人とも強いクライマーなので明日はどちらが勝ってもおかしくないと思います。どちらが勝っても同じチームなので嬉しく思います。



▲下堅小学校・公民館前スタート



▲下堅御柱の木遣り歌

▲レッド・ホワイトジャージ 宮崎泰史(宇都宮ブリッツエン)
グリーン・ブルージャージ ネイサン・アール(チーム右京)▲信州飯田ステージアンバサダー 福島晋一氏(右)
MCアリー(左)
レース実況▲信州飯田ステージスター
信州飯田ステージ組織委員会会長 原勉氏

▲信州飯田ステージポイント賞プレゼンター 飯田市長 佐藤健氏



▲信州飯田ステージ区間賞プレゼンター 飯田市長 佐藤健氏



▲信州飯田ステージ個人総合時間賞プレゼンター 飯田市長 佐藤健氏



▲信州飯田ステージ新人賞プレゼンター 飯田市長 佐藤健氏

▲信州飯田ステージ個人総合時間賞(ひさかた和紙)
プレゼンター 飯田市長 佐藤健氏▲信州飯田ステージ山岳賞副賞(喜久水)
プレゼンター 飯田市長 佐藤健氏▲信州飯田ステージポイント賞副賞(水引王冠)
プレゼンター 飯田市長 佐藤健氏**第1ステージ順位**

1位 ネイサン・アール(チーム右京)	3時間04分25秒
2位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	+3秒
3位 増田 成幸(宇都宮ブリッツエン)	+31秒

チーム総合順位

1位 チーム右京
2位 宇都宮ブリッツエン
3位 キナンレーシングチーム

個人総合時間賞(グリーンジャージ)

1位 ネイサン・アール(チーム右京)	3時間04分15秒
2位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	+7秒
3位 増田 成幸(宇都宮ブリッツエン)	+37秒

個人総合山岳賞(レッドジャージ)

1位 宮崎 泰史(宇都宮ブリッツエン)	7pt
2位 山本 元喜(キナンレーシングチーム)	7pt
3位 安原 大貴(マトリックス パワータグ)	7pt

個人総合ポイント賞(ブルージャージ)

1位 ネイサン・アール(チーム右京)	25pt
2位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	20pt
3位 増田 成幸(宇都宮ブリッツエン)	16pt

**個人総合新人賞(ホワイトジャージ)**

1位 宮崎 泰史(宇都宮ブリッツエン)
2位 留目 夕陽(日本ナショナルチーム)
3位 山本 哲央(チーム ブリヂストン サイクリング)

**宮崎 泰史(宇都宮ブリッツエン)のコメント**

TOJ初出場で、このような名誉ある賞がいただけたことは、とても嬉しいことだと思います。最後の段階で自分の中で判断ミスあって、増田さんに脚を使わせてしまいましたので自分としては課題が残りました。ですが、自分の脚は感覚が良いので、山岳賞をいただけたのは、本当に嬉しいです。
僕の脚質はクライマーですが、明日はどれだけ登れるかは分からない部分もあります。精一杯全力を尽くせたら良いなと思っています。

5 20 FRI Start 10:30



Stage2 FUJISAN

富士山

天候: 曇り22°C (フィニッシュ地点11°C)
来場者数: 9,850人
富士スピードウェイ西ゲート→東京五輪タイムトライアル周回コース→
小山町須走支所→ふじあざみライン
<13.0km x 4周 + 9.4km + 17.4km = 78.8km>
獲得標高 = 2,602m

ホームステージ: チーム ブリヂストン サイクリング
アンバサダー: 飯島誠 氏



ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)が クイーンステージの富士山を制してステージ優勝! チーム右京は2日続けてワン・ツーフィニッシュ!!

大会2日目クイーンステージの富士山ステージは、富士スピードウェイ西ゲート前からスタートし、2020東京五輪ロード個人タイムトライアルの周回コースを4周した後に、ふじあざみラインを駆け上がり、富士山須走口五合目がフィニッシュとなる非常に厳しいコース。

レースは、まずスタートアタックを決めた渡邊歩(愛三工業レーシングチーム)、孫崎大樹(スパークルおおいた)を中心に7名の選手が逃げ集団を形成。メイン集団に最大2分40秒のタイム差をつけて周回コースを先行していく。後方では阿部嵩之(宇都宮ブリッツエン)が先頭固定で淡々とメイン集団を牽引。逃げ集団とメイン集団は2分34秒のタイム差をもって周回コースから小山町商店街を抜けて、決戦の舞台、ふじあざみラインへと向かう。

メイン集団はふじあざみラインへの繋ぎ区間で一気にタイム差を詰め、ふじあざみラインの入り口でほぼ逃げ集団を吸収。残り10km看板を通過する時点

で、逃げ残っていた山本元喜(キナンレーシングチーム)が単独先頭に躍り出るも、残り7km地点で追走集団に吸収された。

フィニッシュまで6kmを切ったあたりで、チーム右京のネイサン・アールとベンジャミン・ダイボールが揃ってアタック。全ての選手をあっという間に置き去りにして行く。追走はトマ・ルバ(キナンレーシングチーム)と増田成幸(宇都宮ブリッツエン)で第1ステージの上位4人によるステージ優勝争いとなる。

単独3位のトマ・ルバが決死の猛追で先頭の2名に25秒差まで詰めるものの、先頭2名は抜群の登坂力を発揮。残り2km地点で44秒と更にタイム差を広げ、フィニッシュで55秒のタイム差を付け、ベンジャミン・ダイボールが富士山ステージ優勝。2位は総合リーダーのネイサン・アール。これでチーム右京は2日続けてのワン・ツーフィニッシュとなった。3位はトマ・ルバ、4位に小林海(マトリックス パワータグ)がつけた。

ベンジャミン・ダイボール
(チーム右京)のコメント

今日は当然のことながら、とてもハードなステージでした。今日もチームメイトとワン・ツーフィニッシュをすることができた、とても嬉しいと思います。富士山は何度登っても驚かされるステージです。昨日、今日とチームにとっては大成功の2日間だったと思います。他のチームもまだ上位を狙ってくると思いますが、我々はとても強いチームですので、この調子で続けてレースができれば良いと思います。

ネイサン・アール(チーム右京)
のコメント

今日もグリーンジャージをキープできて、とても名誉なこと思います。我々はとてもハードワークをしてきましたし、今日も素晴らしいチームワークだったと思います。昨日、今日と、チームはとても成功をおさめていると思います。他のチームのこと、とてもリスペクトしていますし、何が起こるか分からないのがレースですが、明日もチームとして3連勝できればとても嬉しいです。



▲レーススタート前の様子

▲レッドジャージ ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)
グリーン・ブルージャージ ネイサン・アール(チーム右京)
ホワイトジャージ 宮崎泰史(宇都宮ブリッツエン)

▲富士山ステージ限定カウベル



▲富士スピードウェイ西ゲート前メイン会場



▲サイクルロゲイニング当選者 小澤泉氏



▲富士山ステージアンバサダー 飯島誠氏(右)



▲富士山ステージスター 小山町長 池谷晴一氏

▲富士山ステージポイント賞副賞(金太郎サブレ)
プレゼンター 小山町議会議長 遠藤豪氏▲富士山ステージ区間賞副賞(金太郎だんご)
プレゼンター 小山町長 池谷晴一氏

▲富士山ステージ山岳賞副賞(金時せんべい)

プレゼンター 静岡県スポーツ文化・観光部理事兼スポーツ局長 鈴木学氏



▲富士山ステージ新人賞副賞(金太郎の熊どら)

プレゼンター 小山町商工会副会長 秋田敬氏



▲富士山ステージ個人総合時間賞副賞(金太郎パウム)

プレゼンター 小山町長 池谷晴一氏

第2ステージ順位

1位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	2時間33分18秒
2位 ネイサン・アール(チーム右京)	±0秒
3位 トマ・ルバ(キナンレーシングチーム)	+55秒

チーム総合順位

1位 チーム右京
2位 キナンレーシングチーム
3位 マトリックス パワータグ

個人総合時間賞(グリーンジャージ)

1位 ネイサン・アール(チーム右京)	5時間37分33秒
2位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	+7秒
3位 トマ・ルバ(キナンレーシングチーム)	+1分36秒

**個人総合山岳賞(レッドジャージ)**

1位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	18pt
2位 トマ・ルバ(キナンレーシングチーム)	15pt
3位 ネイサン・アール(チーム右京)	13pt

個人総合ポイント賞(ブルージャージ)

1位 ネイサン・アール(チーム右京)	25pt
2位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	20pt
3位 増田 成幸(宇都宮ブリッツエン)	16pt

**個人総合新人賞(ホワイトジャージ)**

1位 宮崎 泰史(宇都宮ブリッツエン)
2位 留目 夕陽(日本ナショナルチーム)
3位 吉田 圭吾(京都産業大学)

宮崎 泰史(宇都宮ブリッツエン)のコメント

今日は山岳賞ジャージを奪われても仕方ないと思っていたましたが、新人賞の方は守れるだろうと思っていた。それより、増田さんのサポートをしっかりしたいと思っていたが、チーム右京が強すぎて太刀打ちできなかったのがすごく悔しいです。今日は、前半阿部さんがしっかり仕事をしてくれて、僕も後半はしっかり登りたかったのですが、高地順応が上手く行かなくて、普段よりも1割くらいパワーも落ちていましたのでレースの難しさを感じました。チームとしてやれることは決まっていますので、連携してしっかりと明日もレースができたら良いと思っています。

5 21 SAT Start 08:50

Stage3 SAGAMIHARA

相模原

天候:雨19°C
来場者数:18,000人
橋本公園→旧小倉橋→串川橋→鳥居原ふれあいの館前周回コース
<パレード4.6km> + <11.1km + 13.8km x 7周 = 107.7km>
獲得標高 = 1,728m

ホームステージ:チーム右京
アンバサダー:初山翔 氏



岡 篤志が雨中のゴール前200mで逃げ切り 相模原ステージを制す

大会3日目は、2回目の開催となる相模原ステージ。市内橋本公園から本村賢太郎相模原市長、観光親善大使の片山右京氏らがパレード走行スタート。4.6kmのニュートラル区間を経て、「かながわの橋100選」にも選ばれている景勝地、旧小倉橋を渡った所でアクチュアルスタート。串川橋から鳥居原ふれあいの館前を回る、1周13.8kmを7周回する。

レースは、激しい雨の中、1時間以上にも及ぶアタック合戦が延々と続くサバイバルレースの様相。4周回目に山本哲央(チームブリヂストンサイクリング)、岡篤志(EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム)、鈴木謙(愛三工業レーシングチーム)を含む8名の逃げが決まる。メイン集団の先頭はレースリーダーを抱えるチーム右京がコントロールをし始めて、ようやくここでレースが一旦落ち着きを見せる。

レースは6周回目で逃げ集団8名に対し、11名の追走集団が32秒差と詰める。メイン集団とは1分52秒差。6周回後半の登り区間で追走集団が逃げ集団に追い付き、19名という強力な集団を形成。メイン集団に2分以上のタイム

差を付け、逃げ切りの可能性が出てくる。

最終周回、逃げ集団19名の中から下り区間を活かしてレオネル・キンテーロ・アルテアガ(マトリックス パワータグ)がアタック。このアタックにライアン・カバナ(ヴィクトワール広島)、山本哲央が合流し、後続におよそ10秒差を付けて逃げ切りをはかるが、登り区間にあって再度集団はひとたまりに。残り5km、先頭はアタックとけん制を繰り返しながらも、この集団に3名を送り込んでいるマトリックス パワータグが主導権を握った状態で、残り500mからスプリントを開始。位置取りよくラスト100mのコーナーを先頭で曲がった岡篤志が、後続を振り切り1位でフィニッシュ。2位にはレオネル・キンテーロ・アルテアガが入り、ブルージャージを獲得。個人総合グリーンジャージは、ネイサン・アール(チーム右京)がキープ。山岳賞レッドジャージは小林海(マトリックス パワータグ)が逆転、新人賞ホワイトジャージは宮崎泰史(宇都宮ブリッジエン)がそれぞれ獲得した。

岡 篤志(EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム)のコメント

本当に応援ありがとうございました。海外チームとしての参戦ということで、絶対に何か成績を残さなくてはいけないと思っていたのですが、今日は何としても逃げて優勝を狙つもりで最初から仕掛け、最終的に逃げ切って優勝できて本当に良かったです。最後はみんな脚がきつい状態でのスプリントでしたので、最終コーナーの手前で先頭に出て、そこから最後までもがき切りました。UCIロードレースで勝ったのは初めてなので、本当に嬉しいです。

ネイサン・アール(チーム右京)のコメント

今日は比較的短いステージでしたが、とても難しいステージでした。ハイペースで、特に下りはとても速く感じました。どのチームも今日はステージ優勝を狙ってきたと思いますが、チームとしてグリーンジャージをキープすることに成功しました。最終日もグリーンジャージでレースできることに、とてもワクワクしていますし、特別なことを感じています。明日はチームメイトのレイモンドの日になるのではないかでしょうか。

レオネル・キンテーロ・アルテアガ(マトリックス パワータグ)のコメント

TOJに参加できて、とても嬉しく思います。この機会を与えてくれたチームに感謝したいと思います。チームは第1ステージから全力で走ってきました。ですので、できるだけ良い成績で終えられるよう、明日も頑張りたいと思います。



▲レッドジャージ ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)
グリーンジャージ ネイサン・アール(チーム右京)
ホワイトジャージ 宮崎泰史(宇都宮ブリッツエン)
ブルージャージ 増田成寿(宇都宮ブリッツエン)



▲レッドジャージ 小林海(マトリックス パワータグ)
ブルージャージ レオナル・キンテロ・アルテアガ(マトリックス パワータグ)
グリーンジャージ ネイサン・アール(チーム右京)
区間賞 岡篤志(EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム)
ホワイトジャージ 宮崎泰史(宇都宮ブリッツエン)



▲相模原ステージロゴデザイン制作者 山下良治氏



▲相模原ステージアンバサダー 初山翔氏(右)



▲相模原ステージスター
相模原サイクルイベント実行委員長 三塚康雄氏



▲相模原ステージポイント賞プレゼンター 相模原市緑区長 石原朗氏



▲相模原ステージ個人総合時間賞プレゼンター 相模原市長 本村賢太郎氏



▲相模原ステージ山岳賞プレゼンター 爰川町長 小野澤豊氏



▲相模原ステージ新人賞プレゼンター 清川村長 岩澤吉美氏



▲相模原ステージ区間賞副賞(名産ゆずセット)
プレゼンター 相模原市副市長 大川亜沙奈氏



▲相模原ステージパレードラン参加者

相模原ステージパレードランメンバー(左から)

相模原スポーツを応援する議員連盟会長 森繁之氏
相模原市終身名誉観光親善大使 片山右京氏
相模原市長 本村賢太郎氏
相模原市議会副委員長 加藤明徳氏
相模原ステージ広報大使 mizu氏

第3ステージ順位

1位 岡 篤志(EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム)	2時間33分37秒
2位 レオナル・キンテロ・アルテアガ(マトリックス パワータグ)	+1秒
3位 山本 哲央(チーム ブリヂストン サイクリング)	+1秒

チーム総合順位

1位 チーム右京
2位 キナンレーシングチーム
3位 マトリックス パワータグ

個人総合時間賞(グリーンジャージ)

1位 ネイサン・アール(チーム右京)	8時間14分19秒
2位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	+7秒
3位 トマ・ルバ(キナンレーシングチーム)	+1分36秒



個人総合山岳賞(レッドジャージ)

1位 小林 海(マトリックス パワータグ)	23pt
2位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	22pt
3位 トマ・ルバ(キナンレーシングチーム)	15pt

個人総合ポイント賞(ブルージャージ)

1位 レオナル・キンテロ・アルテアガ(マトリックス パワータグ)	26pt
2位 岡 篤志(EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム)	25pt
3位 ネイサン・アール(チーム右京)	25pt



個人総合新人賞(ホワイトジャージ)

1位 宮崎 泰史(宇都宮ブリッツエン)
2位 留目 夕陽(日本ナショナルチーム)
3位 吉田 圭吾(京都産業大学)

小林 海(マトリックス パワータグ) のコメント

今日は薄着でスタートしてしまったので、体は動いていたのですが本当に寒くて辛かったです。総合5位は僕たちが望んでいた結果ではないので、ステージ優勝か、何かジャージを獲得しなくてはいけないと思って、積極的に山岳賞は獲りに行こうと思っていました。明日はチームでステージ優勝を目指しますが、僕は地元ですので全開で行きます。

宮崎 泰史(宇都宮ブリッツエン) のコメント

今日はチームとしてステージ優勝が欲しくて、僕も積極的に動いて逃げに乗ったのですが、チェーンを落としてプロントに残ることになってしまいました。当初はこのジャージを着られるとは思っていなかったので、良いレースができると思っています。チームは勝ちが欲しいので、明日もしっかり動いて勝利につなげたいです。

5 22 SUN Start 11:00

Stage4 TOKYO

東京

天候: 晴れ23°C
来場者数: 23,000人
大井埠頭周回コース
<パレード3.8km> + <7.0km x 16周 = 112.0km>
獲得標高 = 50m

ホームステージ: 日本ナショナルチーム
アンバサダー: 今中大介 氏



レイモンド・クレダーが東京ステージV、ネイサン・アールは個人総合V、チーム右京は今大会4戦3勝でチーム総合も手中に

大会最終日の東京ステージは、恒例の大井埠頭周回コース。1周7kmを16周回する、平坦コースの高速パドルが繰り広げられた。

自転車活用推進議員連盟のメンバーである小泉昭男前参議院議員を筆頭としたパレード走行が午前11時にスタート。3.8kmのパレード走行を経て、アクチュアルスタート。例年通り、スタートアタックを決めようと、活発なアタック合戦が始まった。

2周回目、ライアン・カバナ（ヴィクトワール広島）を含む8名の逃げが決まりかけたが、総合7位に位置するライアン・カバナに協調して逃げてくれる仲間が得られずメイン集団に吸収された。

その後もアタックが決まらないまま、6周回目に門田祐輔（EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム）、西尾勇人（那須ブレーゼン）、ホセ・ビセンテ・トリビオ・アルコレア（マトリックス パワータグ）の3名が抜け出し、ようやく逃げが決まる。追走3名に17秒、メイン集団に35秒のタイム差を築いて7周回目に突入。8周回終了時点では、メイン集団におよそ1分30秒のタイム差を付けてレースは完全に落ち着きを見せる。

9周回目、入部正太郎（弱虫ペダルサイクリングチーム）、山田拓海（日本ナショナルチーム）、新城雄大（キナンレーシングチーム）の追走3名が逃げ集団と合流。合計6名の逃げとなって、メイン集団に1分20秒のタイム差。10周回終了時で1分10秒、11周回終了時で56秒差と少しづつタイム差は詰まるものの、依然レースは安定した状態で淡々と進んで行く。

14周回目、メイン集団がペースアップ、いよいよ最後のスプリント勝負に向けて追撃態勢に入り、タイム差は一気に30秒差まで縮まった。15周回目には射程圏内の17秒差まで詰めて、いよいよ最終周回へ。

必死の逃げ切りをはかる逃げ集団だが、残り5kmを切ってメイン集団が吸収。残り2kmまで粘った西尾勇人も吸収され、いよいよ集団スプリントへ。

激しい位置取り争いで混沌とするスプリントを制したのはレイモンド・クレダー（チーム右京）。4日間で3勝したチーム右京は今大会を完全に制覇。この日の表彰式プレゼンターとして小池百合子東京都知事が登壇し、ネイサン・アール（チーム右京）の個人総合優勝に花を添えた。

レイモンド・クレダー（チーム右京）のコメント

大変素晴らしい1日でした。とてもハッピーです。これまで、チームメイトの総合優勝のために自分がずっとアシストしてきました。この3日間は自分にとって、とてもハードでした。今日のチームミーティングで、チームのみんなが僕のために働いてくれると声をかけてくれました。プレッシャーはありましたがあが、何年もの経験でプレッシャーには慣れているつもりです。本当にありがとうございました。

ネイサン・アール（チーム右京）のコメント

本当に特別な気持ちです。TOJで勝つことができて、とても名誉に思います。日本は自分にとって2番目の故郷のように思います。チーム右京のために力を尽くせたことを、とても嬉しく思います。

レオナルド・キンテーロ・アルテアガ（マトリックス パワータグ）のコメント

日本のファンのみなさん、本当にありがとうございました。みなさんの温かさに励まされて頑張ることができました。日本での初めてのステージレースでポイント賞を獲得できて、とても嬉しい思っています。チーム、チームメイト、そしてヴェネズエラにいる家族、今集まって下さったファンのみなさんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございました。



▲レッドジャージ 小林海(マトリックス パワータグ)
ブルージャージ レオナル・キンテーロ・アルテアガ(マトリックス パワータグ)
グリーンジャージ ネイサン・アール(チーム右京)
ホワイトジャージ 宮崎泰史(宇都宮ブリッツエン)



▲ホワイトジャージ 宮崎泰史(宇都宮ブリッツエン)
グリーンジャージ ネイサン・アール(チーム右京)
レッドジャージ 小林海(マトリックス パワータグ)
ブルージャージ レオナル・キンテーロ・アルテアガ(マトリックス パワータグ)



▲東京ステージアンバサダー 今中大介氏(右)



▲東京ステージスターー
自転車活用推進議員連盟 参議院議員 朝日健太郎氏



▲東京ステージ区間賞
プレゼンター 東京都知事 小池百合子氏



▲東京ステージ個人総合時間賞
プレゼンター 三菱地所株式会社 執行役常務 大野郁夫氏



▲東京ステージポイント賞
プレゼンター 株式会社車両スポーツ映像 代表取締役社長 渡邊実氏



▲東京ステージ山岳賞
プレゼンター 日本トーター株式会社 取締役 原田孝雄氏



▲東京ステージ新人賞
プレゼンター 一般社団法人自転車協会 理事長 山崎一氏



▲東京ステージ団体総合時間賞
プレゼンター 自転車活用推進議員連盟 参議院議員 徳茂雅之氏



▲東京ステージパレードランナー

東京ステージパレードランナー(左から)

前参議院議員 小泉昭男氏
警視庁 自転車安全利用指導啓発隊(B EEMS) 龜谷大介氏
警視庁 自転車安全利用指導啓発隊(B EEMS) 草間誠氏
東京サイクリング協会 堀川白良氏
一般社団法人 グッドチャリズム宣言プロジェクト 理事 黒木尊行氏
東京FM「ツアー・オブ・ジャパン」パーソナリティー 野島裕史氏

第4ステージ順位

1位 レイモンド・クレーダー(チーム右京)	2時間17分22秒
2位 沢田 桂太郎(スパークルおおいた)	±0秒
3位 黒枝 咲哉(スパークルおおいた)	±0秒

チーム総合順位

1位 チーム右京
2位 キナンレーシングチーム
3位 マトリックス パワータグ

個人総合時間賞(グリーンジャージ)

1位 ネイサン・アール(チーム右京)	10時間31分40秒
2位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	+8秒
3位 トマ・ルバ(キナンレーシングチーム)	+1分37秒



個人総合山岳賞(レッドジャージ)

1位 小林 海(マトリックス パワータグ)	23pt
2位 ベンジャミン・ダイボール(チーム右京)	22pt
3位 トマ・ルバ(キナンレーシングチーム)	15pt

個人総合ポイント賞(ブルージャージ)

1位 レオナル・キンテーロ・アルテアガ(マトリックス パワータグ)	45pt
2位 岡 篤志(EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム)	40pt
3位 レイモンド・クレーダー(チーム右京)	30pt

個人総合新人賞(ホワイトジャージ)

1位 宮崎 泰史(宇都宮ブリッツエン)
2位 留目 夕陽(日本ナショナルチーム)
3位 吉田 圭吾(京都産業大学)

小林 海(マトリックス パワータグ)
のコメント

望んでいた結果と違うのですが、ジャージを獲得できて嬉しいです。今日は応援にきて下さったみなさんに本当に感謝しています。コロナの影響で、みなさんに生の走りをお見せする機会が少なかったですし、やはりレースは生で見ないと意味がないので、今日はみなさんに見てもらって本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

宮崎 泰史(宇都宮ブリッツエン)
のコメント

昨日の段階で、今日はジャージを守れるだろうと思っていた。落車とか心配なことはありました、レースが安定したので安心感がありました。当初はここまでできると思っていなかったのですが、まずは自己分析して次の全日本選手権に向けてチームの役割を果たしたいです。



Result

個人総合時間賞

順位	選手名	チーム	年齢	タイム	タイム差
1	ネイサン・アール	チーム右京	33	10:31'40"	0'00"
2	ベンジャミン・ダイボール	チーム右京	33	10:31'48"	0'08"
3	トマ・ルバ	キナンレーシングチーム	36	10:33'17"	1'37"
4	増田 成幸	宇都宮ブリッツエン	38	10:34'22"	2'42"
5	小林 海	マトリックス パワータグ	27	10:34'52"	3'12"
6	フランシスコ・マンセボ・ペレス	マトリックス パワータグ	46	10:35'01"	3'21"
7	ライアン・カバナ	ヴィクトワール広島	26	10:36'26"	4'46"
8	山本 大喜	キナンレーシングチーム	26	10:36'31"	4'51"
9	宮崎 泰史	宇都宮ブリッツエン	22	10:36'38"	4'58"
10	山本 元喜	キナンレーシングチーム	30	10:37'15"	5'35"
11	小石 祐馬	チーム右京	28	10:37'43"	6'03"
12	留目 夕陽	日本ナショナルチーム	19	10:37'51"	6'11"
13	石橋 学	チーム右京	29	10:38'04"	6'24"
14	ホセ・ビセンテ・トリビオ・アルコレア	マトリックス パワータグ	36	10:40'34"	8'54"
15	西尾 勇人	那須ブラーゼン	28	10:41'55"	10'15"
16	吉田 圭吾	京都産業大学	20	10:43'53"	12'13"
17	山本 哲央	チーム ブリヂストン サイクリング	22	10:44'04"	12'24"
18	西尾 憲人	那須ブラーゼン	26	10:44'12"	12'32"
19	風間 翔真	シマノレーシング	25	10:44'17"	12'37"
20	石上 優大	EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム	24	10:45'02"	13'22"
21	レオナル・キンテーロ・アルテアガ	マトリックス パワータグ	25	10:45'08"	13'28"
22	川崎 三織	日本ナショナルチーム	20	10:45'15"	13'35"
23	門田 祐輔	EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム	23	10:47'18"	15'38"
24	阿曾 圭佑	ヴィクトワール広島	30	10:48'06"	16'26"
25	小野寺 玲	宇都宮ブリッツエン	26	10:48'07"	16'27"
26	織田 聖	EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム	23	10:48'55"	17'15"
27	兒島 直樹	チーム ブリヂストン サイクリング	21	10:49'51"	18'11"
28	新城 雄大	キナンレーシングチーム	26	10:50'21"	18'41"
29	天野 壮悠	シマノレーシング	20	10:51'12"	19'32"
30	井上 文成	シマノレーシング	24	10:52'57"	21'17"
31	加藤 還	チームユーラシア・IRCタイヤ	22	10:54'08"	22'28"
32	岡 篤志	EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム	26	10:54'17"	22'37"
33	岡本 隼	愛三工業レーシングチーム	26	10:54'31"	22'51"
34	仮屋 和駿	キナンレーシングチーム	21	10:54'50"	23'10"
35	佐藤 大志	那須ブラーゼン	22	10:55'09"	23'29"
36	横山 航太	シマノレーシング	26	10:56'54"	25'14"
37	鈴木 讓	愛三工業レーシングチーム	36	11:00'16"	28'36"
38	廣中 聖	京都産業大学	21	11:00'52"	29'12"
39	大河内 将泰	日本ナショナルチーム	21	11:03'19"	31'39"
40	中井 唯晶	シマノレーシング	25	11:04'03"	32'23"
41	渡邊 歩	愛三工業レーシングチーム	24	11:04'32"	32'52"
42	入部 正太朗	弱虫ペダルサイクリングチーム	32	11:04'42"	33'02"
43	草場 啓吾	愛三工業レーシングチーム	25	11:05'48"	34'08"
44	谷 彰太	日本大学	21	11:06'33"	34'53"
45	今村 駿介	チーム ブリヂストン サイクリング	24	11:07'04"	35'24"
46	園田 大智	ヴィクトワール広島	21	11:07'28"	35'48"
47	安原 大貴	マトリックス パワータグ	30	11:08'28"	36'48"
48	湯浅 博貴	ヴィクトワール広島	21	11:08'50"	37'10"
49	中川 拳	愛三工業レーシングチーム	24	11:08'54"	37'14"
50	五十嵐 洋太	弱虫ペダルサイクリングチーム	20	11:08'56"	37'16"
51	徳田 優	チーム ブリヂストン サイクリング	27	11:09'55"	38'15"
52	香山 飛龍	弱虫ペダルサイクリングチーム	21	11:09'56"	38'16"
53	森本 凜太郎	日本大学	18	11:10'22"	38'42"
54	孫崎 大樹	スパークルおおいた	25	11:10'52"	39'12"
55	寺田 吉騎	日本ナショナルチーム	20	11:11'12"	39'32"
56	山田 拓海	日本ナショナルチーム	20	11:12'43"	41'03"
57	レイモンド・クレダー	チーム右京	32	11:14'59"	43'19"
58	久保田 悠介	ヴィクトワール広島	25	11:17'43"	46'03"
59	山田 潤	京都産業大学	21	11:22'33"	50'53"
60	中島 渉	弱虫ペダルサイクリングチーム	19	11:23'42"	52'02"
61	金子 大介	那須ブラーゼン	30	11:24'26"	52'46"
62	北宅 桃麻	日本大学	20	11:24'57"	53'17"
63	中野 楚樂	日本大学	20	11:24'59"	53'19"
64	色川 岳宏	チームユーラシア・IRCタイヤ	21	11:25'23"	53'43"
65	小村 悠樹	チームユーラシア・IRCタイヤ	22	11:26'47"	55'07"
66	沢田 桂太郎	スパークルおおいた	24	11:28'57"	57'17"
67	阿部 壱之	宇都宮ブリッツエン	35	11:32'21"	1:00'41"
68	黒枝 咲哉	スパークルおおいた	26	11:32'42"	1:01'02"

ポイント賞

順位	選手名	チーム	信州飯田	富士山	相模原	東京	total
1	レオナル・キンテーロ・アルテアガ	マトリックス パワータグ			26	19	45
2	岡 篤志	EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム			25	15	40
3	レイモンド・クレダー	チーム右京	5		25	30	
4	ホセ・ビセンテ・トリビオ・アルコレア	マトリックス パワータグ	10		14	6	30
5	ネイサン・アール	チーム右京	25		2	27	
6	渡邊 歩	愛三工業レーシングチーム	3	8	10		21
7	ベンジャミン・ダイボール	チーム右京	20				20
8	沢田 桂太郎	スパークルおおいた				20	20
9	織田 聖	EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム	10		7	17	
10	黒枝 咲哉	スパークルおおいた				16	16
11	ライアン・カバナ	ヴィクトワール広島	4		12		16
12	増田 成幸	宇都宮ブリッツエン	16				16
13	山本 哲央	チーム ブリヂストン サイクリング			16		16
14	トマ・ルバ	キナンレーシングチーム	14				14
15	フランシスコ・マンセボ・ペレス	マトリックス パワータグ	7		6		13
16	山本 大喜	キナンレーシングチーム	12				12
17	小野寺 珑	宇都宮ブリッツエン	5		6	11	
18	門田 祐輔	EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム				10	10
19	今村 駿介	チーム ブリヂストン サイクリング				10	10
20	留目 夕陽	日本ナショナルチーム	3		7		10

山岳賞

順位	選手名	チーム	信州飯田	富士山	相模原	東京	total
1	小林 海	マトリックス パワータグ	5	8	10		23
2	ベンジャミン・ダイボール	チーム右京	3	15	4		22
3	トマ・ルバ	キナンレーシングチーム	5	10			15
4	ネイサン・アール	チーム右京	1	12	1		14
5	宮崎 泰史	宇都宮ブリッツエン	7	4			11
6	石橋 学	チーム右京	5	3			8
7	山本 元喜	キナンレーシングチーム	7				7
8	安原 大貴	マトリックス パワータグ	7				7
9	増田 成幸	宇都宮ブリッツエン		6			6
10	フランシスコ・マンセボ・ペレス	マトリックス パワータグ	5	1			6
11	レオナル・キンテーロ・アルテアガ	マトリックス パワータグ	3		3		6
12	鈴木 讓	愛三工業レーシングチーム			5		5
13	山本 大喜	キナンレーシングチーム		5			5
14	山本 哲央	チーム ブリヂストン サイクリング			3		3
15	織田 聖	EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム	3				3
16	小石 祐馬	チーム右京		2			2
17	ホセ・ビセンテ・トリビオ・アルコレア	マトリックス パワータグ	1		1		2
18	西尾 勇人	那須ブライゼン	2				2

新人賞

順位	選手名	チーム	タイム	タイム差	順位	選手名	チーム	タイム	タイム差
1	宮崎 泰史	宇都宮ブリッツエン	10:36'38"		14	園田 大智	ヴィクトワール広島	11:07'28"	30'50"
2	留目 夕陽	日本ナショナルチーム	10:37'51"	1'13"	15	湯浅 博貴	ヴィクトワール広島	11:08'50"	32'12"
3	吉田 圭吾	京都産業大学	10:43'53"	7'15"	16	五十嵐 洋太	弱虫ペダルサイクリングチーム	11:08'56"	32'18"
4	山本 哲央	チーム ブリヂストン サイクリング	10:44'04"	7'26"	17	香山 飛龍	弱虫ペダルサイクリングチーム	11:09'56"	33'18"
5	川崎 三織	日本ナショナルチーム	10:45'15"	8'37"	18	森本 凜太郎	日本大学	11:10'22"	33'44"
6	兒島 直樹	チーム ブリヂストン サイクリング	10:49'51"	13'13"	19	寺田 吉騎	日本ナショナルチーム	11:11'12"	34'34"
7	天野 壮悠	シマノレーシング	10:51'12"	14'34"	20	山田 拓海	日本ナショナルチーム	11:12'43"	36'05"
8	加藤 遼	チームユーラシア・IRCタイヤ	10:54'08"	17'30"	21	山田 潤	京都産業大学	11:22'33"	45'55"
9	仮屋 和駿	キナンレーシングチーム	10:54'50"	18'12"	22	中島 渉	弱虫ペダルサイクリングチーム	11:23'42"	47'04"
10	佐藤 大志	那須ブライゼン	10:55'09"	18'31"	23	北宅 栄麻	日本大学	11:24'57"	48'19"
11	廣中 聖	京都産業大学	11:00'52"	24'14"	24	中野 楚樂	日本大学	11:24'59"	48'21"
12	大河内 将泰	日本ナショナルチーム	11:03'19"	26'41"	25	色川 岳宏	チームユーラシア・IRCタイヤ	11:25'23"	48'45"
13	谷 彰太	日本大学	11:06'33"	29'55"	26	小村 悠樹	チームユーラシア・IRCタイヤ	11:26'47"	50'09"

団体総合時間賞

順位	チーム	タイム	タイム差	順位	チーム	タイム	タイム差
1	チーム右京	31:40'57"		9	ヴィクトワール広島	32:31'31"	50'34"
2	キナンレーシングチーム	31:47'07"	6'10"	10	チーム ブリヂストン サイクリング	32:39'34"	58'37"
3	マトリックス パワータグ	31:47'23"	6'26"	11	愛三工業レーシングチーム	32:48'00"	1:07'03"
4	宇都宮ブリッツエン	31:59'11"	18'14"	12	弱虫ペダルサイクリングチーム	32:50'47"	1:09'50"
5	EFエデュケーション・NIPPO デヴェロップメントチーム	32:15'55"	34'58"	13	京都産業大学	32:58'32"	1:17'35"
6	那須ブライゼン	32:21'01"	40'04"	14	チームユーラシア・IRCタイヤ	33:34'13"	1:53'16"
7	シマノレーシング	32:22'48"	41'51"	15	日本大学	33:40'43"	1:59'46"
8	日本ナショナルチーム	32:25'48"	44'51"	16	スパークルおおいた	34:12'45"	2:31'48"



Public relations tool & activities

ポスター



チラシ



プログラム



YouTube



5月19日 信州飯田ステージ YouTube Live 5月20日 富士山ステージ YouTube Live



5月21日 相模原ステージ YouTube Live 5月22日 東京ステージ YouTube Live

三菱地所 presents
ツアーオブジャパン 2022 Webサイト



ツアーオブジャパン通年Webサイト



Facebook



twitter



Instagram



オフィシャルグッズ

NAVY



OATMEAL



WHITE





Publicity TV・Radio & WEB

テレビ



5月19日 信州飯田 SBC信越放送



5月19日 信州飯田 テレビ信州News Every



5月20日 富士山 テレビ静岡



5月28日 相模原 ジェイコム湘南相模



7月10日 東京 BS日テレ 汐留TV

放送日	番組名	放送局	放送内容	放送波	エリア
5月19日 木曜日	信州飯田ステージレース生放送	飯田ケーブルテレビ	信州飯田ステージ生放送	ケーブル	飯田
// 木曜日	News Every	テレビ信州	ニュース	地上	長野県
// 木曜日	ニュースダイジェスト	SBC信越放送	ニュース	地上	長野県
5月20日 金曜日	県内ニュース	テレビ静岡	ニュース	地上	静岡県
5月28日 土曜日	Weeklyトピックス(神奈川)	ジェイコム(湘南・相模)	ニュース	ケーブル	神奈川県
7月10日 日曜日	汐留TV!	BS日テレ	東京ステージ	BS	全国
7月17日 日曜日	汐留TV!(再放送)	BS日テレ	東京ステージ	BS	全国

ラジオ



5月13日 信州飯田 FM長野



5月19日 信州飯田 いいだFM生放送



6月6日_東京 文化放送



全国 東京FMツアーオブジャパン

放送日	番組名	放送局	放送内容	放送波	エリア
1月 9日 日曜日	サイクリスト・ステーション ツアー・オブ・ジャパン	東京FM	大会告知	FM	全国
1月16日 日曜日	サイクリスト・ステーション ツアー・オブ・ジャパン	東京FM	大会告知	FM	全国
5月 1日 日曜日	サイクリスト・ステーション ツアー・オブ・ジャパン	東京FM	大会告知	FM	全国
5月10日 日曜日	サイクリスト・ステーション ツアー・オブ・ジャパン	東京FM	大会告知	FM	全国
5月13日 水曜日	clap!(福島晋一氏ゲスト出演)	FM長野	信州飯田ステージ告知	FM	長野県
5月19日 木曜日	信州飯田ステージレース生放送	いいだFM	信州飯田ステージ生放送	FM	飯田
6月 6日 月曜日	片山右京 DREAM REVIEW(レースレポート)	文化放送	東京ステージ	AM/FM	全国
6月26日 日曜日	サイクリスト・ステーション ツアー・オブ・ジャパン	東京FM	TOJステージ振り返り	FM	全国
7月 3日 日曜日	サイクリスト・ステーション ツアー・オブ・ジャパン	東京FM	今後のレース	FM	全国

雑誌



サイクルビジネス6月号



サイクルスポーツ8月号



バイシクルクラブ9月号



Tour of Japan 2022

海外メディア



5月22日 ProCyclingstats



5月22日 videosdecyclisme.fr



5月22日 Wilerflits オランダ



5月30日 velowire



Derectvelo



Eurosports



WEB

スポンサー

4月25日
告知 JCL公式サイト5月9日
IRC公式サイト5月23日
阿部商会5月23日
キナンレーシングチーム
公式サイト

記者発表

4月8日
イヤ!4月15日
サイクリストWEB4月15日
シクロワイヤード4月15日
バイシクルクラブ5月10日
dメニューニュース
中日スポーツ5月10日
Yahoo!ニュース
中日スポーツ5月10日
東京中日スポーツ

告知

4月11日
Triathlon Lumina4月11日
バイシクルクラブ4月12日
プレスポート4月25日
JCL公式サイト5月1日
旅輪5月14日
BIGLOBEニュース
東京FM広報おやま5月14日
dメニューニュース
東京FM広報おやま5月14日
dメニューニュース
東京FM5月14日
gooニュース
東京FM5月14日
GREEニュース
東京FM5月14日
livedoorニュース
東京FM5月14日
mixiニュース
東京FM5月14日
NEWS Collect
東京FM5月14日
ORICON NEWS
東京FM5月14日
Yahoo!ニュース
東京FM5月14日
エキサイトニュース
東京FM5月14日
グノシー
東京FM5月14日
マイナビニュース
東京FM

前日会見

5月19日
47NEWS
下野新聞5月19日
dメニューニュース
下野新聞5月19日
gooニュース
下野新聞5月19日
シクロワイヤード5月19日
バイシクルクラブ
下野新聞 SOON

全体

1月15日
マイナビニュース1月22日
東京FMプラス Yahoo5月17日
中日新聞 Web5月18日
シクロチャンネル5月18日
シクロワイヤード5月24日
バイシクルクラブ5月25日
NEWS Collect
下野新聞5月26日
バイシクルクラブ5月30日
BIGLOBEニュース
スポーツ報知5月30日
dメニューニュース
スポーツ報知5月30日
Infoseekニュース
スポーツ報知5月30日
Yahoo!ニュース
スポーツ報知5月30日
エキサイトニュース
スポーツ報知5月30日
スポーツ報知6月2日
FRAME5月1日
旅輪



Venue landscape,etc.

4月15日 オンライン公式記者発表



5月18日 前日会見



4月27日から7月24日 自転車文化センターテーマ展示『自転車月間展』



5月18日 各種会議関係



▲ライセンスコントロール



▲監督会議



▲Covid-19対策ドクター：伊藤壮一氏

▲コミセールパネル：松倉信裕氏

▲コミセールミーティング

▲チーフコミセール：ピーター・トムリンソン氏



▲コミセールミーティング

▲ドライバーズミーティング

▲大会ディレクター：栗村修

SHINSHU IIDA



0226 47News
信濃毎日新聞



0226 信濃毎日新聞WEB



0315 サイクリング長野



0401 JRおでかけネット



0401 JR東日本



0401 じゃらん



0402 中日新聞WEB



0405 下久堅
広報誌しもひさかた



0422 稲葉クリーンセンター



0507 中日新聞



0514 47NEWS
信濃毎日新聞



0514 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0514 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0514 47NEWS
信濃毎日新聞



0514 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0518 dメニューNEWS
みんなの経済ネットワーク



0518 gooニュース
みんなの経済新聞



0518 飯田経済新聞



0518 緑のgoo
みんなの経済新聞



0519 47NEWS
信濃毎日新聞



0519 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0519 dメニューNEWS
日刊スポーツ



0519 gooニュース
中日スポーツ



0519 Yahoo!ニュース
中日スポーツ



0519 シクロチャンネル



0519 シクロワイアード



0519 バイシクルクラブ



0519 ラインニュース



0519 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0519 中日スポーツ



0519 朝日新聞飯田市局



0519 南信州新聞



0519 日刊スポーツ



0519 47NEWS
信濃毎日新聞



0519 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0519 dメニューNEWS
中日スポーツ



0519 gooニュース
日刊スポーツ



0519 Yahoo!ニュース
日刊スポーツ



0519 バイシクルクラブ



0519 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0519 47NEWS
信濃毎日新聞



0519 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0519 dメニューNEWS
朝日新聞デジタル



0519 gooニュース
朝日新聞デジタル



0519 47NEWS
信濃毎日新聞



0519 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0519 47NEWS
信濃毎日新聞



0519 47NEWS
信濃毎日新聞デジタル



0501
広報おやま5月号表紙



0501
広報おやま5月号



0601
広報おやま6月号表紙



0401 JRおでかけネット



0401 じゃらん



0512 静岡新聞



0516 静岡新聞



0518 dメニューニュース
広報ごてんば



0520 dメニューニュース
テレビ静岡ニュース



0520 gooニュース
テレビ静岡ニュース



0520 LINEニュース
日刊スポーツ



0520 サイクルスポーツ



0520 シクロチャンネル



0520 シクロワイアード



0520 ニュースコレクト
テレビ静岡



0520 ニュースコレクト
テレビ静岡



0520 バイシクルクラブ



0520 dメニューニュース
LOOK



0520 ポータル
フィールドニュース



0520 日刊スポーツ



0521 下野新聞 SOON



0521 静岡新聞



0521 大分合同新聞



0521 サイクルスポーツ



0521 バイシクルクラブ



0521 静岡新聞



0521 岳麓新聞



0521 下野新聞



0521読売新聞 (沼津市局)



0521 静岡新聞



0601 チャリロト

富士山ステージチラシ



小山町公式サイト



小山町役場

SAGAMIHARA



SAGAMIHARA



TOKYO



0401 JR東日本



0401 じゃらん



0401 おでかけネット



0511 東京中日スポーツ



0514 @niftyニュース 東京FM



0522 Procylingstats



0522 シクロチャンネル



0522 gooニュース 下野新聞 SOON



0523 47NEWS 下野新聞



0523 47NEWS 下野新聞



0523 ORICON NEWS 下野新聞



0523 ORICON NEWS 下野新聞



0523 シクロワイアード



0523 下野新聞 SOON



0523 大分合同新聞



0523 東京中日スポーツ



0523 シクロワイアード



0524 サイクルスポーツweb



0525 NEWS Collect 下野新聞



0523 日刊スポーツ



岡3年ぶりステージV「まさか勝つとは思っていなかつた」



0526 Laroute



0530 東京都



0603 チャリロト



0606 片山右京
DREAM REVIEW



増田・ツブシ個人総合4位
日本人



東京ステージ交通規制チラシ



東京ステージ交通規制チラシ(英語)



0523 下野新聞



0530 スポーツ報知



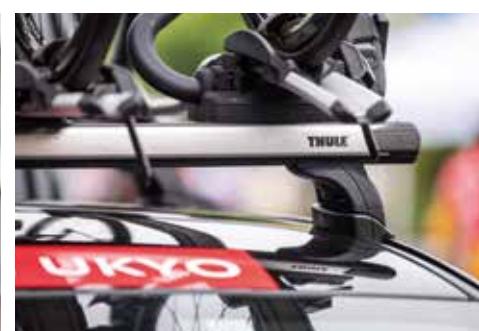
Sponsorship & Event Exposure





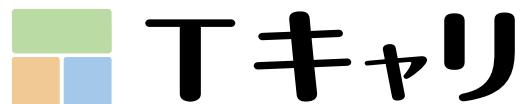


Sponsorship & Event Exposure





OFFICIAL SPONSORS



一般社団法人 自転車協会





個人総合時間賞のネイサン・アール(チーム東京)



<http://www.toj.co.jp/2022/>